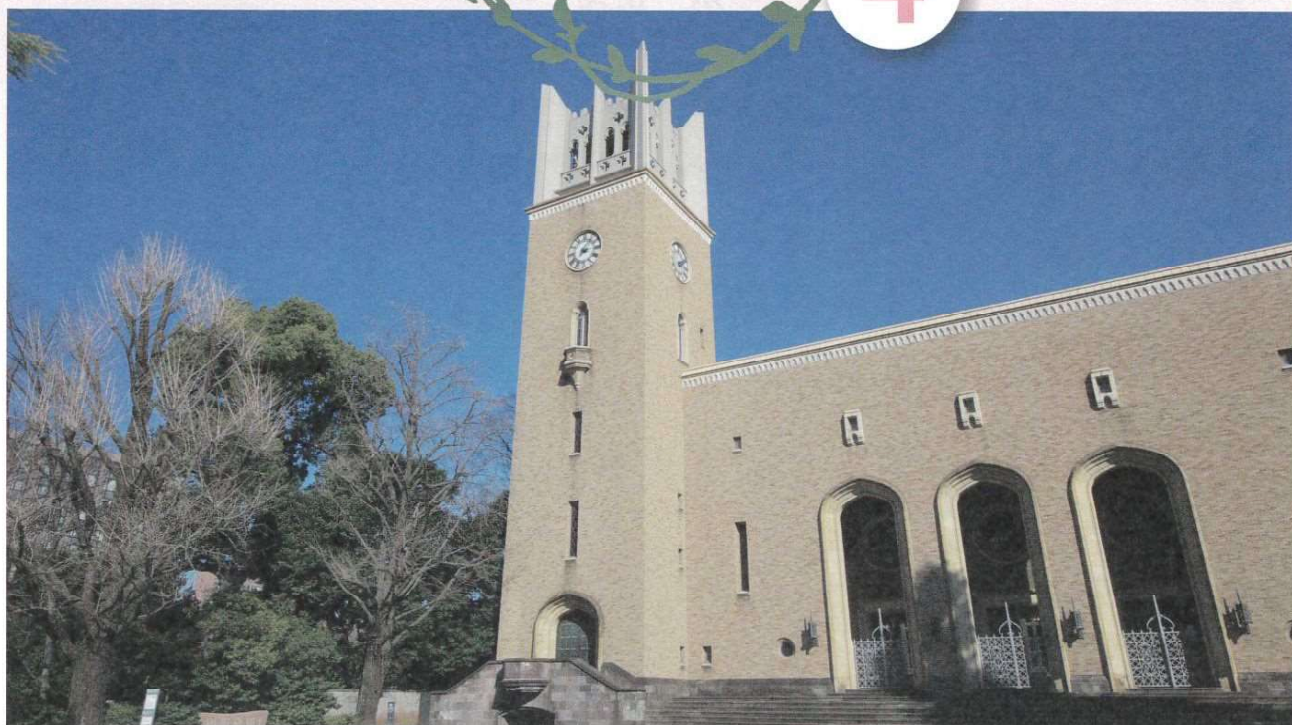


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03 3875 3351 FAX 03-3875-6796  
発行人 山崎 哲  
編集長 仲井 真裕  
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう  
願いに生きる人となる



早稲田大学大隈記念講堂(新宿区)

## 西徳寺の予定

### 4月

- |              |               |           |
|--------------|---------------|-----------|
| 10日(水) 午後2時  | 評議員会役員会       |           |
| 13日(土) 午後5時半 | 同行会総会         | 法話:大橋 伊知郎 |
| 14日(日) 午後3時  | 燈虹塾サロン        |           |
| 17日(水) 午前11時 | 婦人会総会         |           |
| 20日(土) 午後2時  | 定例間法会         |           |
| 21日(日) 午後2時半 | 評議員会総会        |           |
| 28日(日) 午後2時半 | 中央ブロック会総会・間法会 | 場所:西徳寺    |



### 5月

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 11日(土) 午後5時半 | 同行会           | 法話:高橋 淳     |
| 12日(日) 午後2時半 | 城南ブロック会総会・間法会 | 場所:大井町きゅりあん |
| 15日(水) 午後1時半 | 婦人会間法会        |             |
| 18日(土) 午後2時  | 総代会           |             |
| 19日(日) 午後2時半 | 城西ブロック会総会・間法会 |             |
| 25日(土) 午後3時  | 燈虹塾セミナー       | 場所:西徳寺・本堂   |

※予定は変更することがあります。  
詳しくは寺務所までお問合せください。

## ランドマーク 早稲田大学大隈記念講堂(新宿区)

4月、入学シーズンということで、早稲田大学に伺いました。

前身は、明治15(1882)年に創設された「東京専門学校」。明治35年に専門学校から大学への昇格し、「早稲田大学」と改称しました。創立者である大隈重信の別邸が、東京府南豊島郡早稲田村にあったことから早稲田大学という名称になったそうです。

表紙の大隈講堂は、大隈重信の死去4年後、大正15年に建てられた早稲田のシンボリック的存在です。

61万人の卒業生がいるそうで、西徳寺のご門徒にもご縁の深い方が多いのではないのでしょうか。

顧問の一言は次のページ

えこおファイル在庫あります。



## 4月の山門の言葉

### 南無阿弥陀仏というのは、 道を開いてくださることです

宗 正元

今月の言葉は、西徳寺で長年、講師として教えをいただいた宗正元師(令和二年五月二十日 還浄)の言葉である。月に一度、多い時は週に一度以上、必ず師の話を聞いていた。多くの方が楽しみに聴聞にいらつしやる中、晩年は同じ話をずっと繰り返され、私は正直、退屈だなど思っていたことがあった。

先日ふと、亡くなられる半年前の講義を見返してみた。そこに今回の言葉があった。師は続けて、「色んなことを考えておる私たちの左右の手が、一つになることです。そんなことは説明する話じゃない。ただいいていく姿ですわね」と言う。

私たちは教えをいただく立場でありながら、「分かりたい」という願望に支配される。知識で、頭で理解するものだ勘違いをするのだ。そしてその知識を一つの形として握りしめ、他者に振りかざす。それは聞くのではなく、利用することに他ならない。教えを個人で掴もうとしているのだ。そうではなく、道なのだ。この言葉には、今更ながら力強さを感じる。

宗教は救いを求めるのが原点であろう。その救われる主語を、個人であると勘違いしているのだ。そうではなく、「救われる道に立て」と教えられていた。個人としての行きつく先は、残念ながら死しかない。私たちはどこから始まり、どこへ終わっていくのかを考えると、確かにそこに道がある。

聞薫習(もんこんじゆ)という言葉がある。薫習とは、香りの中に過ぐすと、自然にその薫りが身に沁み付くという意味だ。教えていたのだ。言葉しか、私たちは知らない。分かる分からぬを超えた。絶えず教えられ続ける道を、師は指し示してください。絶えず「教えを聞く身になつていない」と、改めてお叱りを受けたように感ずる。痛みと共に学び直したい。

(仲井 真裕 記)

顧問のカレンダーに聞く

まことに

浄土真宗とは

聞法が

いのちであった

今回から法語カレンダーについて、そのいわれを尋ねてまいります。

南無阿弥陀仏のいわれを聞きひろくのが、何故いのちと言われるのか。実はいただいた私のいのちと私の思いは相容れない関係にあります。私の思いとは、思い通りにしたいと言つ自分勝手な自我なのです。宗祖の教えを聞くことは、その自我の実態に気付かせるはたらきであります。

誰にも共通のいのちをいただきながら、千差万別の自我同志の争いから解放されることはあり得ません。いのちのいわれを聞くことによつて、共に生きる道が与えられてくる。ことが聞法の力であると教えられる。



## 西徳寺本堂の歩みと現状

現在は本堂の耐震診断を行っており、先般、診断を依頼している清水建設より耐震診断中間報告がありました。

実際に柱などをコア抜きし、鉄筋量やコンクリートの強度・品質を調査したところ、鉄筋については当時水準が19～22ミリといわれるなか、西徳寺本堂は25ミリ。またコンクリートの圧縮強度も現代水準に近いとの報告でした。

その内容に清水建設の方々も驚かれており、改めて先達がこの本堂に懸ける、並々ならない願いを感じずにはおれませんでした。当寺本堂に対する愛着と誇りを新たにしました。

西徳寺住職 山崎 哲



## いまさら聞けないお寺のこと

### 【法名】



法名とは出家をした僧侶が仏様(お釈迦さま)の弟子となる証として与えられる名前です。お釈迦さまが剃髪をして出家したことに基いて、今日でも真宗では帰敬式や得度式において剃髪の儀式が行われています。

戒名は戒律を守る、修行者となる名のりです。一方法名は仏弟子、お釈迦さまの一族となっていく名のりであります。一般的には戒名が広く知られていますが、真宗門徒は法名と名のりのが正式です。

法名は「釋〇〇」の3文字で名のりのが基本です。これは諸説ありますが、もともとは中国の名前を真似しているそうです。中国では多くが名字は1文字「釋」であり、その後には名前「〇〇」がきます。要はお釈迦さまの一族(家族)となることが法名で表わされています。

以前は女性であれば名前前に「尼」がついたり、後に「童子」や「大姉」等が付与されていましたが、これはその人が女性なのか子供なのかを判別するためで、今日では基本的に当派では付与することはありません。

院号についてですが、「平安時代から鎌倉時代までは天皇や皇族、将軍家の戒名として用いられていました」とあるように、もともとは戒名につくものでした。時代の変遷と共に形を変え、生前に寺院に尽力された方や、社会的に貢献された方にたいして付与されるようになり、身近なものになっています。本来院号は希望するものではなく、寺院より付与されるものですので、ご注意ください。

西徳寺でも**11月3日(日)**に帰敬式を行います。ご興味のある方は寺務所までご連絡ください。

## 城北ブロック会

3月3日(日)ひな祭りに、城北ブロック会聞法会を開催いたしました。コロナ禍を挟んで実に5年ぶりとなった北区王子にある北とびあでの聞法会。初参加の方を含め15名のご参加をいただきました。

テーマは四苦八苦。生の裏には必ず死があるという事実について学びました。大谷顧問からは、「生死に迷う。その迷いが私の本性であり、迷いこそが救いを求める原動力になる」と教わりました。

城北ブロックのメインである懇親会もまた盛り上がり、あっという間にお開きの時間となりました。

**次回は6月9日(日)、池袋**での聞法会を予定しております。初めての方もお気軽にご参加ください。

(担当 仲井 真裕 記)



## 仏具磨き

春のお彼岸に向けて仏具磨きをしました。生憎の天気ではありましたが、有志の方々にご参加していただきましたおかげで、段取りよく行うことができました。初めて参加される方もおられました。共に作業し食事をする事で短い時間ではありましたが、知り合うご縁となりました。これも阿弥陀さんのはたらきではないかなと思います。

お手伝いしていただいた皆様、本当にありがとうございました。(蓮井 邦宗 記)



## 燈虹塾セミナーのご報告

日ごろより江戸伝統文化を学ぶ当塾ですが、今回は春画にスポットを当てて学びました。

お話ししたのは春画研究を長年続けられている、石上阿希先生(瓜生山学園 京都芸術大学)。春画は春信、歌麿、北斎など名立たる絵師も描かれ、洒落や笑いを誘う娯楽として愛されました。しかし明治時代になると「けしからん絵」として禁止された経緯があったことを紹介していただきました。

その上で、こうした歴史文化資料と今後どう向き合うのかを考える、貴重な時間となりました。(事務局 高橋 淳 記)



皆様の代わりに、お花・お線香等、お墓にお供えできます。

## 帰敬式のご案内

令和6年11月3日(日)午後に帰敬式を西徳寺にて執り行います。

|     |      |                 |            |
|-----|------|-----------------|------------|
| 冥加金 | 法名   | 20歳以上           | 20,000円以上  |
|     |      | 20歳未満           | 10,000円以上  |
|     |      | 小学生以下           | 5,000円以上   |
|     | 院号法名 | 希望              | 190,000円以上 |
|     | 院号   | 希望(すでに法名をお持ちの方) | 170,000円以上 |

※法名とは「釋〇〇」、院号とは「〇〇院」、院号法名とは「〇〇院釋〇〇」のことです。

受式を希望される方は西徳寺寺務所(03-3875-3351)までご連絡ください。(受式者氏名・住所・性別・年齢・希望法名等)をお伝えください。何かご質問のある方もお気軽にご連絡ください。



## 春季永代経法要

3月22日(金)、春らしい陽気の中、春の永代経法要と聖徳太子奉讃会をお勤めいたしました。

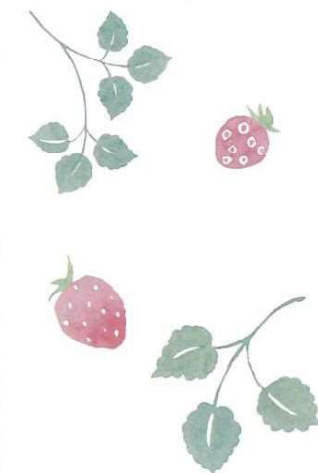
今年は差向布教として、新潟県長岡市にある本光寺の松島祐祥 布教使においでいただき、ご法話をいただきました。

松島師は仏教を一文字で表すならば「恩」であるとされ、「自分だけ良ければいい」という今の世において、この私にかけられたはたらき、その恩を知り、恩に報いることが仏教で勧められているのだと教えてくださいました。

法話の後には、西徳寺混声合唱団エコーの演奏会もあり、美しい音色と共に法要を勤めさせていただきます。



松島祐祥師



合唱団エコーの演奏



## 坊さんのツブヤッター



@ジュンエン

家族旅行で博多へ！  
大宰府行ったり柳川行ったりしたけど、  
娘が一番大興奮したのが中州のアンパンマンミュージアム  
だった・・・。

#アンパンマンミュージアムは横浜にもあるのに  
#西鉄カッコいい



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

## えこお志お礼

新潟県 梵行寺 様  
滋賀県 木村 浩子 様  
江東区 形屋 憲一 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



## 内愚外賢

～賢者の信を聞いて、愚禿が心を顕す～

先月から右膝の調子が悪く、正座をするのが難しくなっています。7年前、早朝野球の試合中に左膝の靭帯を断裂して以来、ずっと反対の足をかばってきたからかもしれません。

お寺も椅子が増えてきていますが、何とか“お坊さんらしい正座”にこだわりたい私。

形はしよせん形、しかし様々な物事は形から始まるのではないのでしょうか。まずは形を覚えることが基礎なのでしょう。しかし身体は思うようにいかないものですね。  
(編集長 仲井 真裕 記)



早稲田大学は春休み中でした

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook